教科：外 国 語　科目：ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅱ

学習指導要領		都立石神井高校　学力スタンダード
聞くこと	ア　事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	・ 聞いたことに対して、繰り返しや説明を求めたり、言い換えて確認したりするなどして、相手の話に関心をもって聞き続けることができる。 ・聞き取れない単語や未知の語句があっても、つながりを示す語句（as a result, however, in other words, on the other hand など）に注意したり、具体例を参考にしながら、内容を推測したりするなどして聞き続けることができる。 ・100 語程度の事物に対する紹介や報告などを聞いて、メモを取るなどして、それらに含まれる事実や意見の概要や要点を捉えて、聞き続けることができる。 ・対話や討論などを聞いて、立場の違いや、それぞれの主張を正確に理解し、事実と意見や考えを区別しながら聞き続けることができる。 ・自然な速さで話された 30 秒程度の対話や討論を聞き、話し手の意見や立場を理解して、自分の考えをもつことができる。 ・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図や立場を把握し、自分の考えを考慮しながら質問や指示などに適切に応じることができる。 ・リズムやイントネーションなどに表れる話し手の意図や気持ちを捉え、キーワードやトピック・センテンスを的確に把握し、内容の展開を理解することができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。

教科：外 国 語　科目：ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅱ

学習指導要領		都立石神井高校　学力スタンダード
読むこと	イ　説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	・必要に応じて英和辞典を活用しながら、400～700 語程度の教科書の説明、評論、物語、随筆などを読んで、事実や書き手の意見や考えを正確に捉え、書かれている内容について自分の考えをもつことができる。 ・教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、文脈や、文法及び構文についての知識を用いて推測したり、背景となる知識を活用したりして読み続けることができる。 ・教科書の文章などの単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な速度と音量で、聞き手に的確に伝わるように明瞭に音読することができる。 ・教科書などの 50 語程度の文章を、その意味を理解した上で、英語の音声的な特徴などに注意しながら暗唱することがきる。 ・内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら教科書の文章を読んで、議論の中心となる「論点」やそれに係わる「根拠」を明確にすることができる。 ・概要や要点を把握するために速読したり、詳細を理解するために精読したりするなど、目的に応じた読み方を選択することができる。 ・教科書の文章について、文と文のつながりや段落の構成、段落間の関連などを考えて読み進めることができる。 ・幅広い情報（例えば商品広告や公共施設の利用案内など）や平易なデータ（例えばアンケート結果など）が示されている図表を読み取ることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。 ・英語学習者向けの英字新聞や雑誌、インターネット上の記事を読んで、情報や意見を読み取ることができる。 ・１年間に、サイドリーダーを２冊以上読む。

教科：外 国 語　科目：ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅱ

学習指導要領		都立石神井高校　学力スタンダード
話すこと	ウ　聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。	・400～700 語程度の教科書の文章の内容を理解した後に、英語の質問を聞いて、根拠を示しながら文章で答えることができる。 ・教科書で扱った内容について、既習の語句や表現を応用して、ワークシートやメモなどを活用しながら、その概要を英語で相手に伝えることができる。 ・ペアやグループで、多様な捉え方ができる話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見を交換したりして、結論を導くことができる。 ・うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を効果的に用いたり、具体例を挙げたりして、情報や考えを相手に伝えることができる。 ・単語の発音に気を付けながら、場面や状況、相手の反応などを踏まえて、適切なリズムやイントネーションを用い、十分な声の大きさ、適切な速度で話すことができる。 ・ペアやグループでの話合いや発表で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。 ・つながりを示す語句などを適切に用いながら、論理の展開を明確にして話すことができる。 ・新聞記事やニュースなどの情報に基づき、話し合ったり意見の交換をしたりする際に、相手の論点を把握し、自分の考えについて根拠などを示して話すことができる。 ・聞き手を意識し、相手に分かりやすく効果的に伝わる表現を選んで話すことができる。 ・他の生徒が話した内容や話し方について、良かった点や改善点を伝えることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解することができる。

教科：外 国 語　科目：ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ英語Ⅱ

学習指導要領		都立石神井高校　学力スタンダード
書くこと	エ　聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。	・学んだことや経験したことに基づき、幅広い話題について書く目的を明確に設定して 50～100 語程度の文章を書くことができる。 ・教科書の文章について、パートごとに、50 語程度の要約文を書くことができる。 ・教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、感想や意見を、その理由とともに 50～100 語程度で書くことができる。 ・トピック・センテンスやサポーティング・センテンスの構成を考え、内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句を適切に用いながら、論理の一貫性がある文章を書くことができる。 ・幅広い話題について、図表を活用して情報や考えなどを伝えるために、グラフにおける数値の増減、状況の変化を示す表現を用いて、適切に書くことができる。 ・文章を書く前に、自分の考えや関連する情報などを整理して、全体の構成を考えることができる。 ・自分で書いた文章を読み直し、表現の曖昧さをなくしたり、他の生徒や教師の意見を参考にしたりしながら、読み手を意識した文章を書くことができる。 ・必要に応じて英和辞書や和英辞書などを積極的に活用して書く。 ・ペアやグループでそれぞれが書いた文章を読み合い、語句や文法の誤りを正したり、読み手に効果的に伝わるように助言したりすることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要となる文化的背景について理解する。